



安田 浩

ユビキタス時代のキラーアプリケーション

「医療画像無線伝送」特別研究会

RC-46

1. 代表幹事

安田 浩 (東京大学 国際・産学共同研究センター 教授)

連絡先

横田勝彦

(医療画像無線伝送特別研究会RC-46担当)

Tel : 03-5908-0718

Fax : 03-5908-0725

e-mail : kate@iri.co.jp

2. 主旨

高齢化社会における救急医療や在宅医療の重要性が高まる中で、ユビキタス環境下における、医療画像伝送の重要性を認識し、動画送受信システム（モバイル端末）を活用することにより、医療機関での医療の前に、医師の指示に基づいた救急車内や自宅での遠隔医療準備と、医療機関側における受入準備を適切に行なうことにより、病状の悪化の抑制と、早期の最適治療を実現し、高騰する医療費の削減に貢献することを目的とする。さらには、この技術を一般の車両からの発着信にも活用し、移動体からの画像伝送の普及に貢献する。

3. その他

年会費 : 正会員10万円、準会員5万円 ※準会員は、シンポジウム等への参加費用が別途必要

定員 : 特になし

運用方法 : 設置期間は、2005年4月～2006年3月

定例研究会を年2～3回開催予定

部会、分科会を設置し画像無線伝送及び救急医療について研究し提言をする。

医療画像無線伝送システム

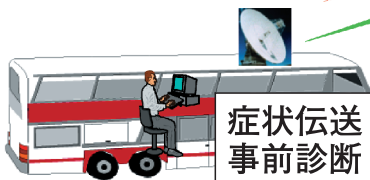
ユビキタス環境下における動画送受信伝送

2.4G帯

5G帯

第三世代

高精細3次元画像双方向伝送



救急車側

1. 移動アンテナ設置
2. 画像送受信設備準備
3. 画像送付に関わる体制準備
4. 画像症例DB受信とその活用体制の準備

伝送体制準備

1. 伝送手法の選択体制



病院側

1. 基地局アンテナ設置
2. 画像表示室準備
3. 医師視聴とそれによる判断・指示体制の準備
4. 画像症例DBの準備と送付体制の準備